

新たな防災気象情報について

■概要

- ・気象庁と国土交通省は令和 8 年 5 月下旬から新しい防災気象情報の運用を開始すると発表しました。これまでは警戒レベルとの対応が複雑でわかりにくくなっていたため、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善を行いました。

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1 級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5 相当	レベル 5 氾濫特別警報	レベル 5 大雨特別警報	レベル 5 土砂災害特別警報	レベル 5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル 4 までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4 相当	レベル 4 氾濫危険警報	レベル 4 大雨危険警報	レベル 4 土砂災害危険警報	レベル 4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3 相当	レベル 3 氾濫警報	レベル 3 大雨警報	レベル 3 土砂災害警報	レベル 3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル 2 氾濫注意報	レベル 2 大雨注意報	レベル 2 土砂災害注意報	レベル 2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

■変更のポイント

●防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を 5 段階の警戒レベルにあわせて発表

- ・市町村が発令する避難情報は 5 段階の警戒レベルで示す運用が行われています。
防災気象情報も 5 段階の警戒レベルに対応した情報を設定することで、取るべき行動との関係が分かりやすくなり、避難の判断がよりしやすい情報体系になります。

●「警戒レベル 4 相当」の情報は「危険警報」として発表

- ・レベル 4 避難指示の発令等となるレベル 4 相当の情報として「危険警報」が新設されます。
例：土砂災害警戒情報 ⇒ レベル 4 土砂災害危険警報

●警報・注意報の情報名にレベルの数字をつけて発表

- ・災害時に取るべき行動をより分かりやすくするために、防災気象情報名称そのものにレベルの数字をつけて発表されます。レベル 3～5 については警戒レベル相当の情報ですが、わかりやすさ、伝わりやすさを重視した名称となります。
例：大雨警報 ⇒ レベル 3 大雨警報